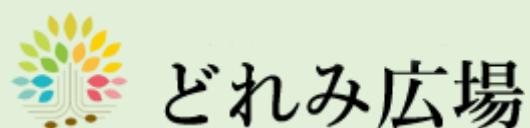


教育環境の向上に貢献し、事業の成長を目指す！

会社名 合同会社ルリエ
 所在地 大阪府寝屋川市打上宮前町2-2-503
 従業員 4名
 資本金 100万円
 売上高 非公表
 業種 学校教具教材開発販売



合同会社Relier（ルリエ）

支援を受けるにあたって掲げた事業上の目標

Before

- 「チョークライナー®」の開発に成功し当社の主力商品として販売を継続している。役者さん(先生)が最高の演技(授業)をするための小道具(教具や教材)つくりをすることが重要だと考えている。
- 今後も教育現場に役立てる会社として成長していきたい。

支援を受けてできるようになったこと

After

- 教育現場の支援につながるビジネスモデル構築の考え方を理解し、新たに7件の商品企画案を策定することができた。

今後の事業展開の展望

Future

- ビジネスモデルを見直し、商品企画案のブラッシュアップを行う。
- 販売先との連携による「チョークライナー®」の販売拡大を継続する。

加速的支援を受けた事業や商材



社長が音楽業界に精通しており、かつ社長の子息の教師経験から「チョークライナー®」を開発した。「直感的」に「素早く」音楽用の5線や英語用の4線などの平行線を引くことが可能であり、黒板でもホワイトボードでも対応可能となっている。また関連特許を2件(第5997412号、第6667803号)、商標を1件(第6182265号)、意匠を1件(第1645274号)取得している。

今後、音楽教室や小中学校などへの普及が見込まれ、大手文具メーカーからのオファーも受けた実績がある。



加速的支援を実施するにあたって整理した課題

取り組んだ課題	課題に取り組んだ背景・理由
教育支援を軸とした事業方針、事業目標の明確化と事業戦略策定	具体的な顧客提供価値や顧客ターゲットを可視化し、教育現場の課題解決につながる事業戦略の策定が必要である。
事業戦略に基づいたマーケティング戦略の策定	「チョークリナー®」の販路拡大を図るとともに、社名やブランド価値向上を意図した情報発信やマーケティング活動を行う必要がある。
事業戦略と連動した商品開発戦略の策定と実行	教育現場の課題や家庭における幼児教育を支援するためにさらなる商品開発が必要であり、開発商品の具体化が必要である。
事業戦略を踏まえた知財戦略の策定	「チョークリナー®」や今後開発予定の製品の販売にあたり、自社の立ち位置及び将来の競争・模倣品対策を見据えた知財戦略の策定が必要である。
契約書管理	新規取引先や協力者との契約に関する整備が必要である。



加速的支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと

支援を受けた事項	支援を通じてできるようになったこと	活用専門家
教育支援を軸とした事業方針、事業目標を明確化し、事業戦略を策定	<ul style="list-style-type: none"> ビジネスモデル構築の考え方について理解を深めた。 今後文具メーカーとの協業によりチョークリナーの拡販に期待が持てる状況となった。 	知財経営専門家
事業戦略に基づいたマーケティング戦略を実践	<ul style="list-style-type: none"> 通常支援により、マーケティング活動にSNS活用を取り入れ、Amazonでの販売を行うなど具体的な販売活動を開始した。 	知財経営専門家
事業戦略と連動した商品開発戦略を策定し、実行	<ul style="list-style-type: none"> 新商品の企画手法について理解を深め、実際に教育支援につながる新商品企画案(7案)策定した。 	商品開発専門家
事業戦略を踏まえた知財戦略を実行	<ul style="list-style-type: none"> 既に取得している特許3件、商標3件及び意匠1件の活用を踏まえた商品開発と販売を進めた。 	弁理士
契約書管理を実施	<ul style="list-style-type: none"> 販売先との具体的な契約内容を確認し、締結した。 	弁理士

支援チーム紹介

主担当専門家:吉栖 康浩

活用専門家:知財経営専門家、商品開発専門家、弁理士

知財総合支援窓口担当者:大阪府知財総合支援窓口 上村孝二

PO(プログラムオフィサー):後藤昌彦